

1. 教育目標・教育方針

【教育目標】

1. 健康 じょうぶなからだ
2. 豊かな情操 やさしいところ
3. 思考と判断 かんがえてすすむ

【教育方針】

1. 遊びを大切にしながら年齢に合った体験を豊富にすることによって、子どもらしさ（生き生きとした・失敗を恐れない・意欲的な）と年齢にふさわしい自律・自立心を身につけること。
2. 保育者達の大きな愛情に包まれて集団生活を送ることにより、人との関わり方の基本を学ぶこと。
3. 一人一人の子どもの発達に応じたきめ細かい対応をし、その子の長所を伸ばす教育を。

2. 令和5年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・創立70周年事業として2号棟の建て替え工事を実施。工事期間中、事故防止に最大限の注意を払い、実施方法を工夫しながら保育を進める。保護者にも丁寧に情報共有を行う。
- ・時代に即した社会のニーズに応える質の高い認定こども園の実現を図るため、カリキュラムや園の施設などの見直しを進める。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、日常保育や行事を工夫して実施する。
- ・地域の子育て支援策として、0歳から満3歳児入園前の親子を対象に相談や集える場を提供するプログラムを新たに実施する。
- ・教職員の情報共有や園内研修などを進め、保育の「質の向上」をより充実させる。また、教職員の業務負担軽減をはかるため、仕事のやり方の見直しを進める。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

〈評価は3段階評価・令和6年1月職員アンケート結果より〉

評価項目	評価	取組み状況
教育方針・目標	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズや運営環境の変化に対応できるよう情報収集につとめている。 ・保育教育目標や方針は、教職員には理事長・園長が自ら会議で話して共通認識をはかっている。 ・新入園児保護者には園の見学会や入園説明会などで丁寧に説明。在園児保護者には年度初めに話をしている。外部向けにはホームページに掲載。
教育課程・指導計画の編成・振り返り	B	<ul style="list-style-type: none"> ・担当が子どもの実態を把握しそれぞれの状況にあわせてカリキュラムを作成、カリキュラム会議で当月の狙いや個別対応の情報交換も行っている。 ・振り返りを行っているが、今後更に改善につなげていけるようにしたい。 ・幼保連携型認定こども園として、幼稚園機能と保育園機能の認識の共有が更に進むように努める。
人材育成・確保 働きやすい環境	C	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の利用者やケアを必要とする園児が増えており、業務量が増加し、常時非常に忙しい状況が続いている。適正な人員配置、必要な人材の確保に努め、業務内容の見直し・削減も進める必要がある。 ・若い先生が多いので、日頃の業務の中でベテランの先生から新しい先生へ声をかけ気づきを伝えて、教育・保育の質を上げるようにしている。 ・それぞれが余裕をもって仕事ができ、意見を言いやすい風通しのいい職場環境を目指す。
教育・保育の内容と方法	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもを教職員全員が大切にしており、子どもの状況にあわせた保育を行うことを日々心掛けている。 ・援助が必要な子どもには補助教諭がついて、安心できる環境を整備しているが、ケアが必要な園児が増えているので更なる対応が必要。 ・朝礼、終礼、会議などで子どもの状況や取組状況、課題などについて常に意識を共有している。 ・もりのこ（保育園部門）ではテーマ別の毎月の勉強会を年間計画に取り入れている。
施設・環境整備	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は古くなった2号棟園舎の建て替え工事を実施、今年度内に完成することができた。 ・遊具等は充実している。遊具や施設は日々点検し、危険箇所もチェックしている。 ・乳児が園庭で安心して遊べる環境を整備したい。
安全・衛生関連の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1年以上にわたる2号棟園舎建て替え工事のため、安全な保育のために全職員で協力して実施方法を工夫し、工事関係者とも協議しながら、事故などなく予定通り年度内に完成できた。 ・産業医を含む安全衛生委員会を月1回開催、課題の洗い出しや解決をはかっている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患、慢性疾患等の情報は確実に教職員で共有し、いつも確認をしながら対応している。 ・ケガや病気が多く、教員、事務所が連携して対応にあたるようにしている。
情報の発信と受信	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には園での様子を連絡帳や朝夕送迎時、電話などで丁寧に伝え、話しやすい雰囲気を作るようにしている。 ・保護者向け案内、園児募集、未就園児向け活動、教員募集などでオンラインによる対外的な情報発信を年々進めており、保護者等の利便性の向上をはかっている。
地域、関係機関との関わり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から0歳から満3歳入園前までの地域の親子を対象にしたプログラム「さくらんぼちゃん」を新たに開始。園教員の相談対応、親子が集える場の提供を行っている。引き続き内容などを検討していきたい。 ・2号棟園舎建て替え工事では地域の方々への状況共有、丁寧な対応を行った。

4. 総合的な評価と今後取り組むべき課題

- ・令和5年度は通年にわたり2号棟の建て替え工事を行った。安全な保育のために実施方法を工夫し、工事関係者とも協議しながら、事故などなく予定通り年度内に完成できた。令和6年度から新たな園舎で保育を実施する。
- ・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行事などもコロナ前の保護者が参加できる実施方法に戻して実施することができた。
- ・一人ひとりの子どもを教職員が大事にし、支援が必要な子どもには補助の先生がついて子どもが安心できる環境を作っている。一方で、教職員の負担軽減が喫緊の課題となっており、業務量、仕事のやり方の見直しが課題。適正な人員配置を行い、教職員が余裕をもって仕事ができるようにしていきたい。また若い先生も多いので教職員の情報共有、園内研修をさらに進め、質の向上を図りたい。
- ・令和5年度から0歳から満3歳入園前までの地域の親子を対象にしたプログラム「さくらんぼちゃん」を新たに開始。園教員の相談対応、親子が集える場の提供を行っている。参加者からは好評で引き続き内容などを検討していきたい。
- ・インターネットの活用を年々進めており、保護者の利便性の向上、教職員の負担軽減に寄与している。今後も更に進める。